

令和7年度 学校関係者評価

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
安全・安心	未然防止の行動力と有事への対応力の向上	・校内事故0を目指し、具体的な予防策に取り組むことができた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの共有化による予防、周知が十分できていて安心する。 ・ヒヤリハットの情報共有は大事なことだと思うので、共有に力を入れてもらっているようで良かった。 ・お互いに意見を出し合うのは良い。 ・思い込みは危険だが、それを確認する他者がいることが良い。 ・引き続きヒヤリハット事例報告がどんどんできるような取組ができると良い。
		・有事の際の自分の役割や行動を具体的に想定できた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しが大変。よく頑張っている。 ・想定は難しいが、多くの経験が必要。 ・若い先生にも経験をたくさんさせたい。 ・放デイでも避難訓練をしているが、学校での訓練も参考になるので見学したいという声を聞いた。
		・平時、緊急時の自分の役割を理解し、協働して安全な医療的ケアを実施できた（担当教職員）。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本当の災害はマニュアル0なので、いろいろな想定で行うことはすばらしい。 ・人工呼吸器訓練を行っていることは良い。 ・中東遠総合医療センターとつながりができて良かった。
		・各学部、各分掌と連携し、柔軟で効果的な予算執行ができた（事務職員）。	A	A	
	自他を尊重し合う意識の醸成	・自他の人権意識を大切にする態度を高めることができた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・良い言葉掛けができて良かった。 ・袋井特別支援学校の良いところ。 ・地域の中でも「人権意識」のことがしっかり語られていないので、追いついていけない。
		・児童生徒の自己肯定感を高める指導ができた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分の成長に気づく場、互いの良さを認め合う場を考えていてくれてありがたい。 ・ひまわりのシールは、とても良い。 ・「シールを貼ることが目的とならないように」の報告があり、共感した。 ・大変良い。 ・保護者の5%が否定する評価なのはなぜか、取り組んでほしいです。

子ども主体の授業

主体的・対話的で深い学びを実現するための授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が授業に主体的に取り組み学びを実感する授業を実践できた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に生かせそうだ。 ・初めて現場実習に行ったが、親が思っていた以上に子どもができることがたくさんあり、学校での指導は本当にありがたかった。 ・引き続きお願いしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画を授業の実践に生かすことができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の指導がありがたい。 ・とても細かく計画を作成している。 ・子ども一人一人のためにしっかり計画を考えてくれている。 ・引き続きお願いしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等での学びを自らの指導に役立てることができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きお願いしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の支援・指導に ICT 機器を効果的に活用することができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT、AI の活用事例を見せてもらい、ますます好事例が期待できる。 ・ICT 機器への取組が素晴らしい。 ・KeyNote アプリを使うことで、ゲーム感覚で日常的習慣につながっているようだ。 ・集まるのが苦手な子は、Zoom での始業式などは安心できる。 ・今後も ICT を活用してほしい。 ・タブレット等の活用は、どんどんしてほしいと思うが、持ち運びが重いので負担になる。 ・ICT を利用できない児童生徒への対応について考えてほしい。 ・スマホやタブレットの使い方、悪影響について、子どもたちも知ってほしい。
12年間を積み上げる授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に自らの成長と目標を意識させる指導ができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを見せてもらったが、子ども、保護者、学校にとっても良い。 ・キャリアパスポートはとても良い取組だと思う。紙で残ることに意味がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画や指導内容表（進路、保健、道徳、安全、食育等）を授業作りに生かし発達段階に応じた指導をすることができた。 	A	A	
互いに高め合える教職員集団の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・指導について気軽に相談し合えることができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が言える職場は良い学校になると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら専門性の向上に努めることができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがたい。

連携	保護者、関係機関、地域との連携・協働体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動を児童生徒が自信を深める場として活用できた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間交流が増えているようなので、他の学校にも理解が広まっているのを感じられる。 ・毎月作品展示の入替があった。 ・地域（自治会）の受け入れをもっと増やし、多くの住民が児童生徒と交流できる場を作りたい。 ・東海アクシス看護専門学校が役に立って良かった。 ・掲示板（生徒作製）の寄贈ありがとうございました。 ・地域連携が積極的に行われていることがとても良い。地域と学校の皆さまの協力に感謝します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の良さを地域に伝えることができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな作品作りが感じられた。生徒さんたちのあいさつ、行動に先生への信頼感が表れていた。 ・光る子まつりや地域販売会に地元住民がたくさん参加するように、連合会で学校のイベント情報を発信したい。そのため、学校の情報を直接連合会に伝えてほしい。 ・SNSの活用をもっとしてほしい。 ・特別支援学校のことを知ってほしい。 ・PTAもSNSを活用していきたい。 ・よく取り組まれていると思いますが、保護者の6%が否定的なので不思議だ。
		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者及び必要な関連機関と連携し、支援の充実を図ることができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は家庭によって温度差もあり、最近仕事などで学校へ来る機会も減っている。どうやって保護者と連携しているのか。 ・放デイともっと連携してほしい。（行事や予定の連絡など） ・電話やメールで連絡が取れた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育について、ニーズに応じた助言や説明をすることができた（担当教員）。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・作品注文のお願いに対してしっかりと応えていただいた。